

ご挨拶

会長 豊田勝良

9月に入り秋雨前線日本列島停滞。まるで梅雨が戻ったような天気が続き千葉では豪雨の被害が、やっと太陽が覗いたと思ったら台風25号、またもや関東各地に大雨が降り神奈川県、千葉県に大きな被害がでました。お陰様で石神町会の地域は大きな被害はなかったと思います。それでもこの気候変動がこれから常態化していくと町会としても雨対策を考えていかななくてははいけないかもしれません。

町会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃より町会活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。先月の13日の「安否確認ボード訓練」では多くの町会員の皆様にご参加をしていただきました。アパート、マンションを除くおよそ1300世帯の内約600世帯(正確な数字は後日お知らせします。)の皆様が当日の訓練で玄関ノブ(外から見える所)に「安否確認ボード」を掲げていただきました。ご参加いただいた町会員の皆様、当日、一軒一軒見回りをしていただいた各班長の皆様、誠にありがとうございました。

「自助」「共助」「公助」自分で自分や家族を守る自助、地域で助け合う共助が、大きな自然災害が発生した時に大事なことだと思います。「区、都、国」はすぐには助けには来てくれません。練馬区の人口は約70万人、大災害が発生したらだれが直ぐに助けてくれるのか、自分自身、ご近所、地域の人達の助け合いだと思います。町会も防災に関しては、まだまだ足りない所がいっぱいあります。少しでも早く、少しでも多く、町会員の皆様のお役に立てるよう努力していきます。令和8年度、来年3月までにもう一度「安否確認ボード訓練」を行いたいと思います。多くの町会員世帯のご参加をお願いいたします。「安否確認ボード」のない方町会で用意が有ります。遠慮なくお申し出ください。

7月に発生した熊本地震には、町会として義援金10万円を熊本県に送金しました、これは町会員の皆様が協力して集まったリサイクル金からです。ありがとうございました。

インフルエンザも流行しているようです。町会員の皆様には、これから日毎に寒さが増していきます。お体に十分お気をつけてお過ごしください。



みんなで楽しく防災訓練 & 地域交流祭り

もしもの時の備えを体感して 体を動かしてみんなで楽しもう！

日時:11月15日(日曜日) 10時～ (受け付けは9時30分より)

場所:みんなの広場

午前:防災訓練 消火器による初期消火訓練 AED 訓練 担架搬送訓練

昼食:非常食の炊き出し

午後:地域交流祭り 玉入れ 水運びリレー パン食い競走

※雨天の場合は石神井幼稚園ホールにて DVD 鑑賞、AED 訓練となり炊き出し、交流祭りは中止となります。



リサイクル部

熊本地震に義援金送りました

会員の皆様にご報告です。今年7月28日に起きた「熊本地震」に対して、8月に石神町会として義援金10万円をリサイクル部の予算から送らせていただきました。

熊本は10年前の4月にも大きな地震があり、令和2年には豪雨災害を受ける中、復興に取り組み、シンボルである「熊本城」の復興も進んでいるときに今回の地震ということで地元の方々のご苦労ははかり知れません。そこで、応援の気持ちを義援金として送りました。

今年は各地で水害もあり、どこでどのような災害が起こるかわかりません。自然の強大な力と同時に人間の無力さを感じます。しかし人間にはそれを乗り越える知恵と人と人の絆があります。言い換えれば「自助」と「共助」です。先日「安否確認ボード」の訓練を行いました。これも「共助」の一環です。災害が起きた時、「自助」「共助」ができる強い町にするため、皆様に参加していただけるような活動を町会として行っていきたいと思っています。これからもご協力をお願いします。

リサイクル部 松井

文化交流部

バス旅行 迎賓館赤坂離宮と大國魂神社

外国の要人の方を接待する迎賓館赤坂離宮と武蔵国の総社である大國魂神社に参拝します
まだ、お席に空きがあります。参加希望の方は早めに申し込んでください。

日時：10月6日（火曜日）

石神井（『気楽な家』前ファミリーマート）＝迎賓館赤坂離宮（見学）＝昼食（ホテルコンチネンタル府中）

8:30 集合 8:40 出発

10:00～11:15

12:30～14:00

＝大國魂神社（参拝）＝石神井

14:10～14:50

16:10 予定、

参加費：会員 8,000 円 非会員 10,000 円

申込み：各支部長さんまで参加費を添えて申し込んでください



文化交流部 青木

速報 第一回安否確認ボード掲示訓練

6月の町会便りで、お知らせした安否確認ボード掲示訓練。予定通り、9月13日（日曜日）に実施しました。壊滅的な大地震だけでなく、短時間に大量な雨を局地的に降らせる線状降水帯や台風を迷走させるモンスーンジャイアなど災害の種類が今迄以上に知られるようになり、防災訓練は具体的にどの災害に対してという目標を立てるのが難しくなりました。

どんな災害でも、命に係わるような状況に遭ったなら、先ず自分の安全を確保、次にお互いに助け合い生き残る事が大事です。そのために出来る一歩として、A 助けが必要か否か、自分の被災状況になるべ

く早く周りに伝える。B その通知を近所の人を確認し、係に連絡。この情報を町会全体としてまとめ、現状を把握する。C この情報を行政にあげ、公の支援を求める。これが生き残りの基礎となる筈です。

- ① このため、先ず自分が、無事ですという掲示板を出す。
- ② 班長が近所を回り、このボードが掛かっているか個々の家を回り、確認。
- ③ 確認した状況を纏め、支部長に連絡。
- ④ 連絡された支部長が全体の数を集計し、防災部長に連絡。部長は結果を公表。

今回は、ここまでの訓練を実施しました。①では、各人が安否確認札を用意するよう何度も広報しましたが、当日までなかった人もいました。今後続けてやれば全員に行き渡る筈です。黄色い札は見易かったのですが、玄関と門扉が離れている家では、玄関に掲示されても道路からすぐに確認できない事もありました。

②では、近所を回り現場を確認した班長は、支部長に電話で連絡すると決めていましたが、封書で届けた班長もあり報告が遅れた例もありました。

③では、班長からの情報を纏めた支部長はグループラインで防災部長に連絡する予定でしたが、グループラインが上手く繋がらなかった支部長もありました。

④グループラインのお蔭で、現場からの訂正情報もスムーズに伝わりました。しかし、結果はグループラインに入っている人たちだけに伝わりました。

△色々な原因で、集計は遅れましたが、最終的には、町会の全支部が参加、事前に参加を表明した班は、全て参加しました。細かい数字は、今後行う反省会で確認した後で、お知らせします。

訓練は何回か繰り返していくと、問題点がもっとはっきりし改善できる筈です。今後も続けて訓練することが、大事。続けましょう。

今回参加して下さった会員の皆様で、感じられた事などありましたら是非とも班長・支部長にお伝えいただければ助かります。

石神町会界限のお祭り

盆踊り

7月に光和小学校と石神井小学校で、例年通り行われた盆踊り大会。光和小学校は7月18日(土曜日)に、石神井小学校は7月20日(月曜日:海の日)に開催。両日とも良い天候に恵まれました。今は知らない周りの人と気持ちが一つになれる場はなかなか無く、難しい。しかし、同じ曲を同じ拍子に乗り同じ振りで共に踊っていると、隣の人と心が解け合い、忘我の状態となり、一つになることができます。

町会では5月末から盆おどり大会を目指し、踊りを習得したい人が毎週2時間盆踊りの練習会に集まっています。今年は炭坑節・相馬盆歌・練馬音頭・東京音頭・オバQ音頭・ドラえもん音頭を習いました。

光和小の盆踊り大会では今年初めて5月から踊りを一緒に学んできた町会員が、生徒たちへのお手本として櫓の上で最初の30分ほど踊ることに。いざ櫓に登ると緊張しましたが、それでも皆一つになり楽しく踊り抜きました。

一方石神井小では、盆踊り大会に4町会が参加、櫓を囲んで踊ります。中には浴衣やTシャツで衣装を揃えた町会もあり、石神町会でも同じ半纏を着て踊りたいという要望が出ました。来年実現できれ



ば嬉しい。5月から始まる練習会に参加すれば、誰でも踊れるようになります。盆踊りを学ぶ機会はなかなかありません。無料で学べる絶好の機会です。興味のある方は、来年は是非ご参加下さい。

石神井祭

昨年、45年ぶりに復活された御輿。懐かしく心に響くお囃子の音が町内に流れ、沢山の見物人で賑わいました。それを踏まえ、今年は、練り歩く道筋を変え、準備も万端にされました。ところが、今年は前日の宵宮は晴れて無事に行われましたが、本祭りの当日9月6日は一日中雨降り。それでも寒い中、半分は石神井町会内にある予定の行路を練り歩きました。主催の石神井公園商店街振興組合の人も、御神輿を貸してくれた御輿同好会「石粋會」の面々も寒い中、濡れネズミでしたが、元気に御神輿を担ぎました。来年は晴れるといいな。



石神井神社の秋祭り

石神井神社は、4丁目に鎮座する神社です。昔、土中から掘り出されたと言われる石棒が、今も社内にあり、町の地名の由来とも言われます。

今年の秋祭りは、**10月25日**に行われます。本年は「陰祭り」なので、「本祭り」の年と違い、子供御輿や曳太鼓は出ませんが模擬店やゲームは出されます。是非お子様連れでおいで下さい。

10支部長だった豊田恵子さんに聞く

長い間、10支部の支部長をされていた豊田さんが、今年支部長を引退、次の加藤隆二さんに譲られました。町会として昔のことを残すために、豊田さんに色々お聞きました。

町会活動に入られたのは、豊田三郎さんが、会長だったころ。今の文化交流部の前進の婦人部を作った。婦人部は各支部から1人ずつ15～6人で構成され、その活動は、皆で話しあって決めた。○日赤の奉仕で、おむつ作りをした。○防災訓練をし、5人1組でホースから直接放水する実地訓練をした。○町会の旅行企画をし、バス旅行などを実施した。○また皆で手芸を学び、紐で竹かごなどを作った。裁縫が専門の渡辺桂子さんが部長になってからは、大きな作品を、今でもやっているように文化展で発表するようになった。○盆踊りは、婦人部が運営に当たり、当時あった広い北原遊園地で行い、屋台なども出した。夜9時過ぎまで多くの人に参加し賑わった。懐かしい。

当時は長閑で呑気な時代だった。今後の町会の活動への要望としては、折角集まる機会なのだから、班長会や支部長会は、事務連絡だけでなく、お茶代くらい出し親睦の気持ちを深める場にする事が大事ではないか。新会員への教育・啓蒙は、会全体でやった方が良くと思う。役員不足が今後更に深刻になる筈なので、これに巧く対応しリクルート策を講じていくことが大事だと思う。

町会と平行して、農協の婦人部で、今もお饅頭をつくられていて JA で販売、また石神井神社でも氏子婦人部として、正月や4月のお祭り、秋祭りには、色々奉仕されています。大変お元気でした。